

登録コード	L1541101		開講年度	2026			
担当教員	今井 章			副担当			
授業科目	心理学特殊実験 (心理学実験)						
英文授業名	Psychology: Advanced Experiments						
授業タイトル	心理学特殊実験 (心理学実験)						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限 水曜・2時限
講義室	人文205 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力が身につくようになる。			
	【2022年度以前加付対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力が身につくようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学が身につくようになる。			
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身につくようになる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	心理学における研究がいかにして行われるか、その全体的な流れを学びながら、自らの問題意識を整理し、リサーチ・クエスチョンとして表現し仮説にする。さらに、仮説を検証するためのデータ収集の方法を決定し、実験や調査のためのシナリオや質問紙を構成する。 このような一連の研究遂行をしていく中で、グループ・ディスカッションを行い、自らの問題のみに終始することなく、学んだことを全体の知としてフィードバックすることで、受講生相互に刺激を与え合う授業構成とする。 なお、受講生は授業時間以外にも適宜、教員の指導を受ける。						
授業計画	第1回：ガイダンス：心理学における研究とは 第2回：問題の発見(1)：自らの問題意識を整理し発表する 第3回：問題の発見(2)：グループ・ディスカッションによって問題を深める 第4回：先行研究の探索と研究テーマの選定(1)：先行研究の探索の仕方を学ぶ 第5回：先行研究の探索と研究テーマの選定(2)：先行研究を探索し、問題を相対化する 第6回：仮説の設定(1)：問題をリサーチ・クエスチョンとして表現する 第7回：仮説の設定(2)：グループ・ディスカッションによって、仮説を確定する 第8回：データ収集方法と具体的な実施手続きの決定(1)：データ収集の方法を学ぶ（実験法） 第9回：データ収集方法と具体的な実施手続きの決定(2)：データ収集の方法を学ぶ（調査法） 第10回：データ解析方法と具体的な実施手続きの決定(3)：データ解析の方法を学ぶ（統計法） 第11回：データ収集と解析の方法と具体的な実施手続きの決定(4)：グループ・ディスカッションによって、データ収集と解析の方法を確定する 第12回：実験・調査の準備(1)：仮説検討に適した実験シナリオ・質問紙を、グループ・ディスカッションによって構成する 第13回：実験・調査の準備(2)：予備実験・調査の実施とデータの統計解析をする 第14回：実験・調査の準備(3)：予備実験・調査結果を基に、実験シナリオ・質問紙を改善する 第15回：まとめと授業アンケート 定期試験：なし						
成績評価の方法	授業での討論への参加(25%)，レポーターとしての発表内容(25%)，および期末のレポート(50%)を総合して，心理学における実証科学的な手法を体得したかを評価する。						
成績評価の基準	授業での討論に毎回，的確に参加し，レポートの内容が極めて優れている場合は『卓越している』，討論に3/4程度，的確に参加し，レポートの内容がかなり優れている場合は『かなり上にある』，討論に2/4程度，的確に参加し，レポートの内容がやや優れている場合は『やや上にある』，討論に1/4程度，的確に参加し，レポートの内容がその水準にある場合は『その水準にある』と評価する。						
事前事後学習の内容	レポーターとしての発表のための入念な事前学習(3時間)が必要である。授業内で議論され，指摘された点は事後学習(1時間)の材料とする。						
履修上の注意	心理学基礎実験，および (心理的アセスメント)を履修済みの，心理学・社会心理学コース心理学系の学生に限る。心理学系で卒業論文を書く予定の者は必ず履修する必要がある。						
質問、相談への対応	木曜日の12:30～13:30のオフィスアワーにて対応する。事前にメール(imaiakr@shinshu-u.ac.jp)にて予約をする。						
教科書	使用しない。						

参考書	●J. L. アンドレアッシ著 今井章監訳 (2007/2012). 心理生理学 北大路書房 7,700円 (税込) ●市原茂・阿久津洋巳・石口彰編 視覚実験研究ガイドブック 朝倉書店 7040円 (税込) ●日本心理学会編著 (2022). 日本心理学会執筆・投稿の手びき(2022年改訂版) 社団法人日本心理学会 500円 (税込) その他，授業時に随時伝える。
-----	--